

令和6年度県立大師高等学校 不祥事ゼロプログラムの実証結果・検証等

① 生徒に対するわいせつ、セクハラ行為の防止

目標	信頼できる大人として、社会通念を常に念頭に置き、自らが置かれた立場と使命に則った言動に基づく支援・指導を行う。	
	行動計画	検証結果
	<p>○目に見える場所での支援・指導、またそれが諸事情より難しい場合は誰が誰を何のたぐいに対応しているのかが複数の目で見られる支援・指導を常に行う。</p> <p>○いかなる状況であっても、教職員は生徒に対する優位性を有しているという自覚を常に持ち、生徒の尊厳を脅かす行為は絶対に行わない。</p>	<p>○複数人での対応やオープンな場での支援・指導を実践した。</p> <p>○今後も研修等を効果的に実施し、高い倫理観の保持・向上を目指す。</p>

② 職場のハラスメントの防止

目標	パワハラ、セクハラ、モラハラの芽は日常の言動に潜んでいるという自覚を常にもち、相手の気持ちを想像したコミュニケーションを意識して行う。	
	行動計画	検証結果
	<p>○望ましい同僚性の構築に教職員が自覚をもって取組み、一人で悩み等を抱え込まない職場環境づくりを進めていく。</p> <p>○ハラスメント防止指針への理解を深めるとともに、ハラスメントの芽に対する感度を高め、未然防止を第一に考える。</p>	<p>○職員同士の円滑なコミュニケーションが確立されている。</p> <p>○今後も様々なハラスメントに関する知識・理解を深めていく。</p>

③ 体罰、不適切な指導の防止

目標	生徒一人ひとりをもつ特性を踏まえたうえで、信頼できる大人としての冷静かつ的確な判断に基づく適切な指導・支援を行う。	
	行動計画	検証結果
	<p>○刻々と変化する生徒の心理や思考に最大限の注意を払い、職員相互の連携を重視した適切な指導・支援にあたる。</p> <p>○外部諸機関との連携を通じて生徒理解を深めるとともに、生徒情報をしっかりと把握したうえで適切な指導・支援を行う。</p>	<p>○多くの外部機関と連携し、多角的な視点での支援・指導を実践した。</p> <p>○今後も職員全体の意識づけをしっかりと行っていく。</p>

④ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目標	自らが有する情報について、何があり、どのように管理しなければならないのかという視点を常に持ちながら、セキュリティ対策を進めていく。	
	行動計画	検証結果
	<p>○職務上知り得た個人情報等の整理を第一に行い、ひと手間かけた管理を厭わずに行っていく。</p> <p>○セキュリティの重要性を常に意識しつつ、その対策を組織やシステムとして具体的に進めていく。</p>	<p>○概ね意識した行動がとれている。</p> <p>○今後もICT支援委員会を中心に、有効かつ安全なりテラシーの向上に努める。</p>

⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱に係る事故防止

目標	各種マニュアルにある重要ポイントをしっかりと抑えること第一とし、業務の全貌をつかんだうえで些細なミスから防止していく。	
	行動計画	検証結果
	<p>○複数の照合においても、誰かがチェックしているからという意識を捨て、必ず誤りがあるという前提で作業を進める。</p> <p>○日常的に扱っている情報が高度な個人情報であることを改めて自覚し、誤りの許されない業務であることへの理解を徹底する。</p>	<p>○それぞれが業務の内容や流れを確実に理解し業務に対応した。</p> <p>○今後も業務のルーティン化や明確な指示によりミスの防止に努める。</p>

⑥ 財務事務等の適正執行

目標	私費会計の執行については、定められた基準を確認するひと手間をかけるとともに、ICT機器を利活用し業務の効率化を進める。	
	行動計画	検証結果
	<p>○基本的な会計ルールを意識しながら執行することに努めるとともに、関係者間の連携を密にした運用を行う。</p> <p>○ICT機器を利活用し、データ管理を徹底しながら業務をスムーズに行うことを心掛ける。</p>	<p>○複数回の研修を実施するとともに、OJTにより財務事務執行ルールの理解を深めた。</p> <p>○今後もICT機器の利活用により業務の省力化を図る。</p>

⑦ 校務外非行防止も含めた法令遵守意識の向上

目標	教育公務員として、種々の服務規律の意味を念頭におき、各種関係法令の遵守し、自らの行動を顧みて律していく。	
	行動計画	検証結果
	<p>○職員一人ひとりが、教員である前に社会人として自らの言動に合理的な説明責任を負うことを自覚し、行動していく。</p> <p>○教育公務員に課せられた義務への知識と理解をより一層深めることで、法令遵守の意識を向上させていく。</p>	<p>○全職員に対し綱紀の保持や倫理観の醸成を図り、組織的な意識の啓発を行った。</p> <p>○今後も法令順守意識の向上に努める。</p>

令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

令和6年度の本校の達成状況は、特に重大な事故不祥事もなく良好であったと考えている。本年度も不祥事防止研修等を通じて不祥事ゼロに向けた指導を徹底させた。各自自己点検をすること、また気にかかることは速やかに報告することを徹底し、プログラムの各課題の目標を達成することができた。管理職共々、風通しのよい職場環境を目指している。

令和7年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為・体罰の防止、財務事務等の適正執行、個人情報の管理を重点課題として、不祥事防止研修等で職員の事故防止意識の啓発を行い、日常の指導助言を通じて当事者意識を高めさせていきたい。